



今回も思い出に残るお同行さんたちを前坊守村上悦美に紹介してもらいます。

思い出の方々



白川春三様（上高屋）

法名満春院釋念西 寿算九十一歳
平成元年（一九八九年）三月十九日お浄土へ



三十年間のお導きであつた。一々を書いてみました。が、羅列しきれなかった。とにかく村のお同行さんの代表であつた。四日市別院御正忌にご奉仕、お参りの留守中、大変なことが起こつた。就学前のお孫さんが寒風の強い日、川の事故で亡くなられた。近所の私たちも動転した。しかし春三さんは慟哭を秘めながら「この世は何が起こるかかわからない所、ナンマンダブ〜」と動じられなかったとお聞きした。

晩年は永らく床に就かれていた。お寺の御正忌の立華の材料採りにお庫裡の玄関前の樅の大木（明治末の念信寺移転の前からそこにあり、現在も歴史を刻んでいる）に登り落下されたそう、本人からもご家族からも一言も聞いていなかった。

考えてみれば春三さんの生き様はこの世を越えたお導きのなかでの、ほんかな常夜灯であると知らされる。

慈悲の中白萩楚々と灯りをり
無辺の影の揺れ止まずして

ありがとうございます。白川さんは仏法相続のお家です。ようこそ、ようこそ。

合掌

近い肉親の死で思う事

吉田昭和（北九州市小倉北区）

先日、朝七時頃電話が鳴った。田舎の叔父からの電話で、私と同じ年齢の従兄が亡くなったという知らせであつた。予期せぬ事で俄かには信じられなく、聞き返したがやはり真実であつた。昨年の叔母の死に続き、血の繋がった肉親がまた旅立った。数日前に、体の異常を感じ、病院に行ったが、遅かつたそうである。

彼とは家族の境遇が似ている。私達の一歳上の兄達が一歳で亡くなり、その後私たちが同じ年に生まれたのである。

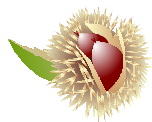


彼は内垣に、私は小倉にと住まいは別となったが、夏休みには内垣で大いに遊び、魚とりや山遊び等沢山彼に教わつた。男兄弟のいない私には兄弟の様な存在であつた。

これから内垣の事では、彼に教わらなければと思つていたのに、残念である。葬儀はコロナ禍であり、家族、親族のみの寂しいものであつたが、最後の別れの時に、家族はもちろん親族の人も皆、亡き彼の遺体に花を手向けながら、（有難う）と言ひ別れを惜しんでいた。彼がいかに家族、親族に慕われ、大事な人であつたかが窺われた。今頃あの世で、両親、兄と再会して、話しが弾んでいる事と思う。ゆっくり休んで欲しい。

「有難う」

この歳になると、血の繋がった肉親の訃報に接する機会が多くなる。悲しい事ではあるが、皆、感謝されながら、見送られている。



お参りの日々

念信寺衆徒 村上 宣
暑い夏がようやく過ぎ、9月となり

新納骨堂委員会からのお知らせ



皆さんご承知の通り現納骨堂は昭和42年12月に完成し、今日に到るまで修理等を行ってきましたが、老朽化、劣化が激しく大規模改修か建替えかの議論を重ねて来たところであります。最終的には6月の臨時総会にて建替えに決まりました。

新納骨堂の大きさは現納骨堂とほぼ同じですが、木造耐火構造で屋根瓦は準本葺き（鐘撞き堂と同じ）であります。より良い納骨堂建設のため見栄えだけでなく、会員の方々が利用しやすく管理も出来るだけ簡単に済むよう、住職を中心に委員会で議論を重ねているところであります。皆様のご理解とご協力をお願いします。

最後になりますが、来年3月末完成の予定です。完成した際はぜひ見に来て下さい。

新納骨堂建設委員会

委員長 大庭誠司

ました。皆さんご無事にお過ごしでしょうか。



今年は日本中、どこもかしこも大変な思いをし、た夏だったと思います。北海道も例外ではなく、気温35度以上の日が長く

続き、まともに雨が降らなかったため、農家の方々は悲鳴を挙げていらつしやいました。お寺の方も、北海道の家にはエアコンがなく扇風機が主なため、お盆参りは汗をだらだらと流しながら行われ、「今年は大変だ」と言っておられました。そんな大変な時期が過ぎ、9月になると今度は途端に寒くなり、20度前後を行き来しているようなところです。これからは坂を転げるように寒くなるとの事で、6月寺報でも書いたように、冬が恐ろしいばかりです。

今年も約9ヶ月が過ぎまして、北海道に来て既に4ヶ月になろうとしています。しかし、お寺のお仕事ということとコロナもあって、外に出るのは躊躇われ、北海道を見てまわるようなことは出来ずにあります。それが不幸か幸いかは分かりませんが、これといって変わったようなことのない、お参りに行ってお寺のことを少しずつ手伝って家に帰るとい、なんでもない日々を過ごさせていたたいです。不満もありつつ、満足もしつつという感じですが、私は元気にしています。皆さんもまた、そのような平穏な日常を過ごされていることを北海道から願っています。

